

令和7年度福岡県小児等在宅医療推進事業
社会資源調査

「小児歯科訪問診療実態調査」
報告書

福岡県
九州大学病院

令和7年12月

目 次

「小児歯科訪問診療実態調査」報告書

<小児歯科訪問診療実態調査>について……………	1
調査対象・調査方法・調査項目	
序文	
結果概要	
謝辞	
<小児歯科訪問診療アンケート>調査結果……………	5
調査回答基準	
調査対象数と回答数	
アンケート集計結果	
<添付>アンケートフォーム……………	22

令和7年度福岡県小児等在宅医療推進事業 ＜小児歯科訪問診療実態調査＞について

近年、医療的ケア児の増加に伴い、小児歯科訪問診療のニーズが高まっている。そこで、福岡県小児等在宅医療推進事業では、令和7年度の医療資源調査として、小児歯科訪問診療の現状と課題を解析した。小児等在宅医療における歯科医療の重要性の理解促進と、多職種連携における歯科連携の推進を目指す。

調査対象

福岡県下の歯科診療所（下記1～3）2,318ヶ所 及び病院（歯科標榜）65ヶ所

- 1.九州厚生局 小児歯科医院
- 2.福岡県歯科医師会 障がい者(児)歯科診療登録医院
- 3.福岡県歯科医師会 訪問歯科診療登録医院

調査方法

対象医療機関へ調査依頼状（ハガキ）を郵送

Google フォームによる WEB 回答

調査項目

「小児歯科訪問診療アンケート」

- ・全診療(年齢は問わない)のうち、歯科訪問診療の実施の有無
- ・全診療（外来・訪問は問わない）のうち、18歳未満患者の歯科診療実績の有無
- ・18歳未満患者の歯科訪問診療の実績の有無
- ・18歳未満患者の歯科訪問診療の実績の内容等

【序文】

近年、周産期・小児医療、ならびに救命救急医療の進歩に伴い、在宅医療を必要とする小児～成人（医療的ケア児者）が増加している。福岡県小児等在宅医療推進事業では、医療的ケア児者が在宅において必要な医療・福祉サービス等の提供を受け、地域で安心して療養できるよう、福祉や教育とも連携した支援体制の構築を目指している。

医療的ケア児者の歯科診療は、口腔からの喀痰吸引や抜歯時の麻酔など、ハイリスクな処置を伴うことから、大学病院・こども病院などの病院歯科での診療が主流と考えられる。そのために、医科で進められている在宅療養支援診療所への移行と比較すると、地域での訪問歯科診療への移行が進んでいない現状が伺われる。しかしながら、医療的ケア児者への訪問歯科診療、たとえ口腔ケアに限定された対応であったとしても、養育者の負担軽減、口腔内清潔の保持、そして感染症の軽減に大きく貢献することが期待される。

そこで令和7年度の医療資源調査として、福岡県歯科医師会と連携し、県内の小児歯科訪問診療の現状および今後の体制拡充に向けた課題を調査した。また、小児歯科診療・訪問歯科診療の実績の有無にかかわらず、県内すべての歯科診療所・病院から幅広く意見を集約することで、小児訪問歯科診療の現況と障壁、推進に向けた支援（研修、後方支援体制、連携体制など）を多角的に把握することも目的とした。

本調査が医療的ケア児者を支える訪問歯科診療の体制整備と、医療・福祉・行政による多職種連携の推進に向けた資料として、広く活用されることを期待する。

【結果概要】

福岡県内の歯科診療所（九州厚生局に届け出されている小児歯科医院、福岡県歯科医師会に登録されている障がい児者歯科診療所ならびに訪問歯科診療所）2,318施設、ならびに歯科標榜されている病院65施設、合わせて2,383施設に調査を依頼し、うち461施設（19%）から回答を得た。回答を得た施設の医療圏内訳は、福岡・糸島183施設、粕屋33施設、宗像17施設、筑紫31施設、朝倉3施設、久留米41施設、八女・筑後8施設、有明15施設、飯塚12施設、直方・鞍手9施設、田川8施設、北九州88施設、ならびに京築13施設であった。また施設内訳は診療所歯科が435施設、病院歯科が26施設であった。

回答を得た461施設のうち、235施設（51%）が歯科訪問診療の実績があり、368施設（80%）が18歳未満患者の診療実績があった。また、32施設が18歳未満患者の歯科訪問診療の実績があると報告された。

18歳未満患者の歯科訪問診療の実績がある32施設を対象に選択項目による調査を行った。歯科訪問診療に占める18歳未満患者の割合では、1～19%が26施設(81%)であり、20～39%が2施設(6%)、60～79%が2施設(6%)であった。ひと月当たりの18歳未満患者の訪問件数では、2～5件が16施設(50%)であり、6～10件が2施設、10件以上が3施設であった。依頼元(重複あり)は、患者家族よりが20件、障害福祉サービス事業所よりが13件、訪問看護師よりが10件であった。18歳未満患者並びに養育者からの主訴(重複あり)は口腔ケアが31件、う歯・歯周病の治療が18件、歯石沈着が13件であった。診療実績(重複あり)は、口腔清掃指導が32件、歯石除去が26件、フッ化物歯面塗布が24件であった。18歳未満患者の医療的ケアの内訳(重複あり)は、吸引(口鼻腔・気管内)が19件、気管切開が17件、人工呼吸器並びに経管栄養がいずれも15件であった。医科医師や多職種との連携では、「必要十分な連携ができている」との回答が10施設(31%)、「連携は行っているが、十分ではないと感じている」との回答が19施設(59%)であった。小児訪問歯科診療の課題(重複あり)は、医科医師や多職種との連携が20件、実績のある歯科医師の不足が17件、対応できる歯科スタッフの不足が16件であった。18歳未満患者の歯科訪問診療の推進を目的とした研修会が企画されれば、10施設は参加したい、21施設は都合がつけば参加したいとの回答であった。

18歳未満患者の歯科訪問診療の実績がない429施設を対象に選択項目による調査を行った。実績のない理由(重複あり)は、診療時間が確保できないが158件、経験が乏しいが154件、対応できる歯科スタッフに乏しいが150件であった。診療実施の意向は実施したいが23施設(6%)、依頼があれば実施してよいが127施設(30%)であった。歯科訪問診療所との連携実績は、診療情報提供書を提供しての連携が16施設(4%)、診療情報提供書は受けておらず、患者・家族の判断での実施が7施設(2%)であった。18歳未満患者の歯科訪問診療の推進を目的とした研修会が企画されれば、53施設は参加したい、184施設は都合がつけば参加したいとの回答であった。

18歳未満患者の歯科訪問診療に関する自由記載回答85件では、多くの課題と推進に向けた意見が寄せられた。令和6年度に18歳未満患者の歯科訪問診療の実績が「ある」と回答のあった7件と、「ない」と回答のあった78件に大別し、類似する意見を項目別に分類してまとめた。

【謝辞】

本調査にあたり、調査内容の検討と調査票の作成のご助言を賜りました九州大学大学院 歯学研究院 小児口腔医学分野 福本敏 教授、高山扶美子 助教に深謝申し上げます。福岡県歯科医師会 江里能成 会長、川端貴美子 専務理事には、本調査での連携ならびに歯科医師会員の皆様への周知にご尽力を賜りました。

障害者歯科アクティブネットワーク九州 森田 浩光 代表（福岡歯科大学 成長発達歯学講座 障害者歯科学分野）にはホームページ掲載等で会員への調査協力のお声掛けを頂きました。

最後に診療でご多忙のところ調査にご回答頂き、貴重なご意見をお寄せ頂きました歯科診療所（九州厚生局に届け出されている小児歯科医院、福岡県歯科医師会に登録されている障がい児者歯科診療所ならびに訪問歯科診療所）、ならびに歯科標榜病院の先生方に厚く御礼申し上げます。

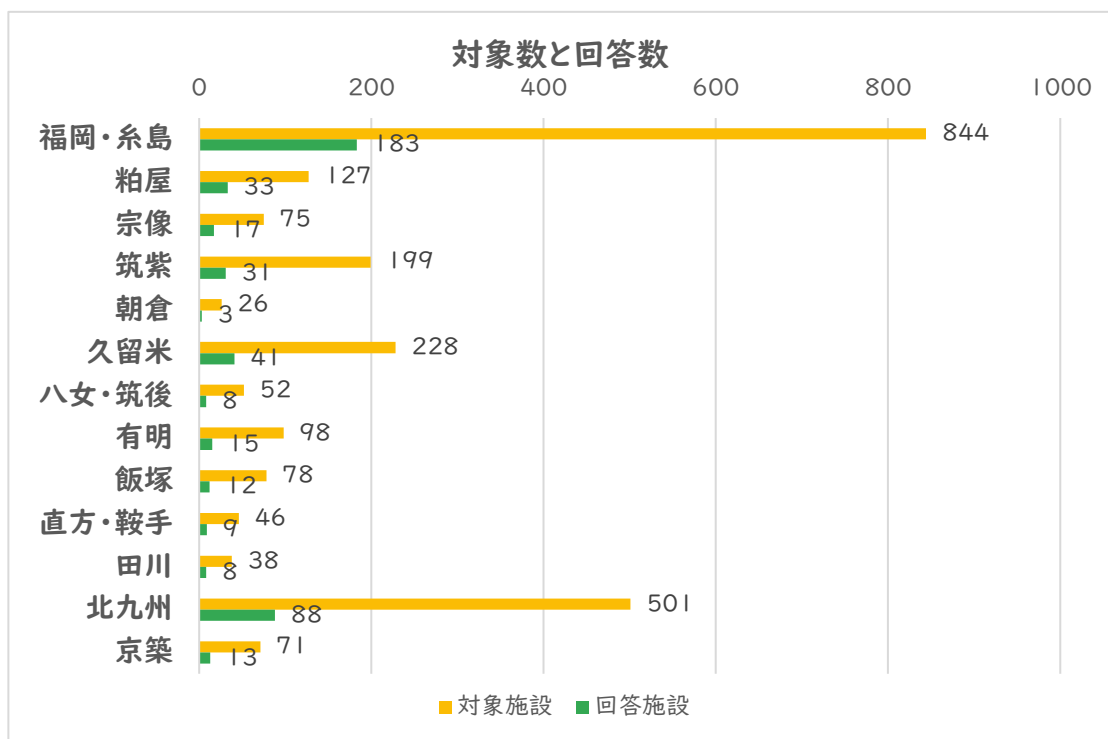
令和7年度福岡県小児等在宅医療推進事業 ＜小児歯科訪問診療アンケート＞調査結果

調査回答基準

- ・ 令和6年度実績
- ・ 共通項目(施設名称以外)必須
- ・ 選択項目 すべて任意

調査対象数と回答数(回答率)

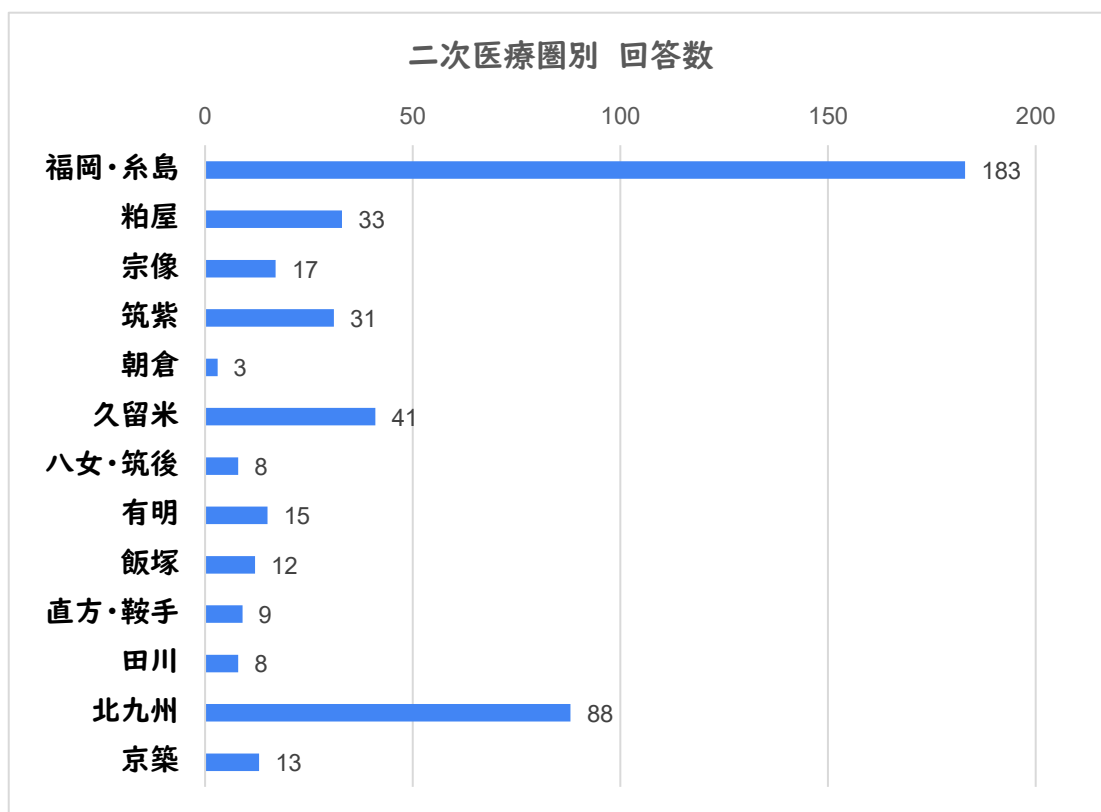
二次医療圏	対象施設			回答施設			回答率
	診療所	病院	計	診療所	病院	計	
福岡・糸島	822	22	844	171	12	183	22%
粕屋	120	7	127	30	3	33	26%
宗像	72	3	75	17	0	17	23%
筑紫	196	3	199	30	1	31	16%
朝倉	26		26	3		3	12%
久留米	220	8	228	39	2	41	18%
八女・筑後	50	2	52	8	0	8	15%
有明	96	2	98	15	0	15	15%
飯塚	77	1	78	11	1	12	15%
直方・鞍手	45	1	46	9	0	9	20%
田川	37	1	38	7	1	8	21%
北九州	486	15	501	82	6	88	18%
京築	71		71	13		13	18%
合計	2,318	65	2,383	435	26	461	19%



調査結果
共通項目(必須)

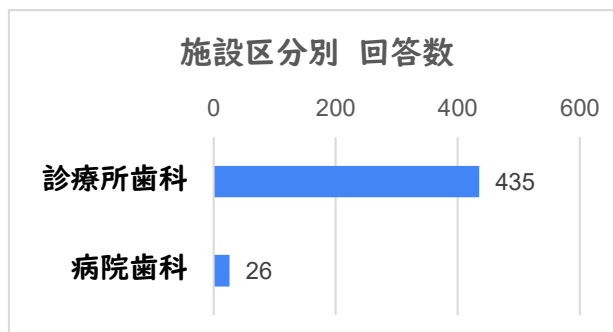
・ 二次医療圏

	回答数	割合
福岡・糸島	183	40%
粕屋	33	7%
宗像	17	4%
筑紫	31	7%
朝倉	3	1%
久留米	41	9%
八女・筑後	8	2%
有明	15	3%
飯塚	12	3%
直方・鞍手	9	2%
田川	8	2%
北九州	88	19%
京築	13	3%
合計	461	100%



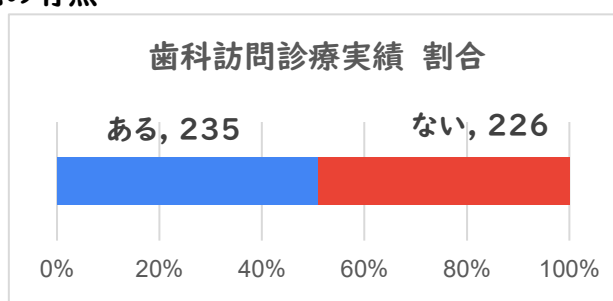
・ 施設区分

	回答数	割合
診療所歯科	435	94%
病院歯科	26	6%
合計	461	100%



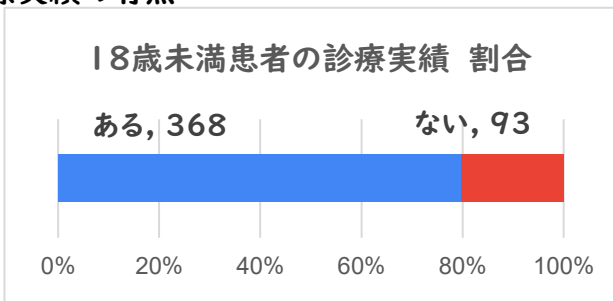
・ 全診療のうち、歯科訪問診療の実施の有無

	回答数	割合
ある	235	51%
ない	226	49%
合計	461	100%



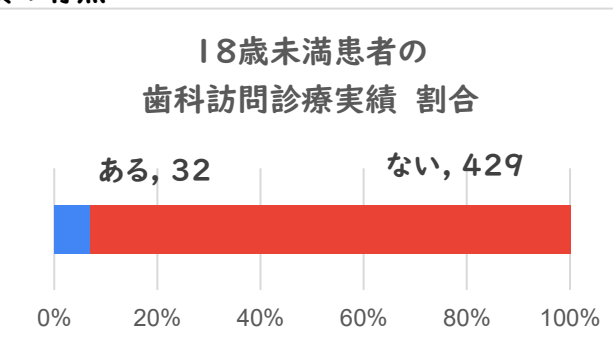
・ 全診療のうち、18歳未満患者の診療実績の有無

	回答数	割合
ある	368	80%
ない	93	20%
合計	461	100%



・ 18歳未満患者の歯科訪問診療実績の有無

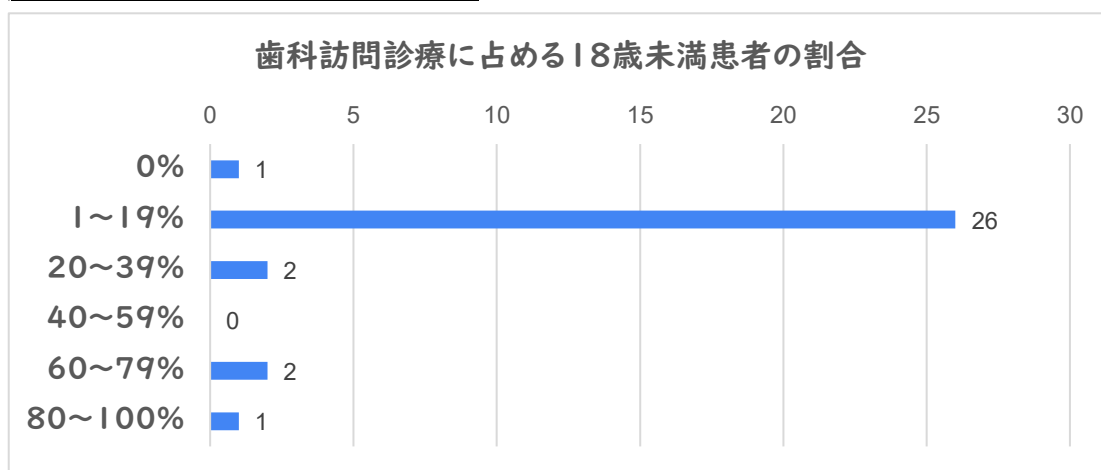
	回答数	割合
ある	32	7%
ない	429	93%
合計	461	100%



選択項目 18歳未満患者の歯科訪問診療の実績が「ある」と回答の方(任意)

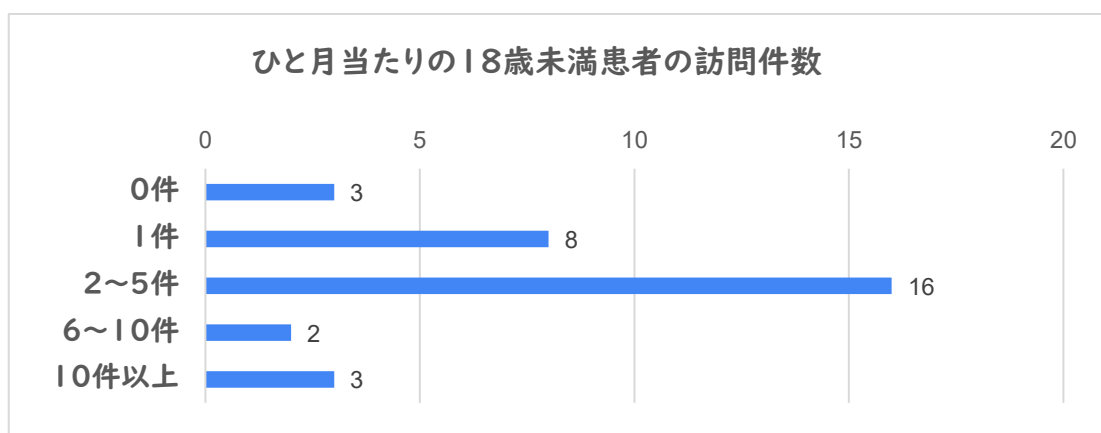
・ 歯科訪問診療に占める18歳未満患者の割合

	回答数	割合
0%	1	3%
1~19%	26	81%
20~39%	2	6%
40~59%	0	0%
60~79%	2	6%
80~100%	1	3%
合計	32	100%



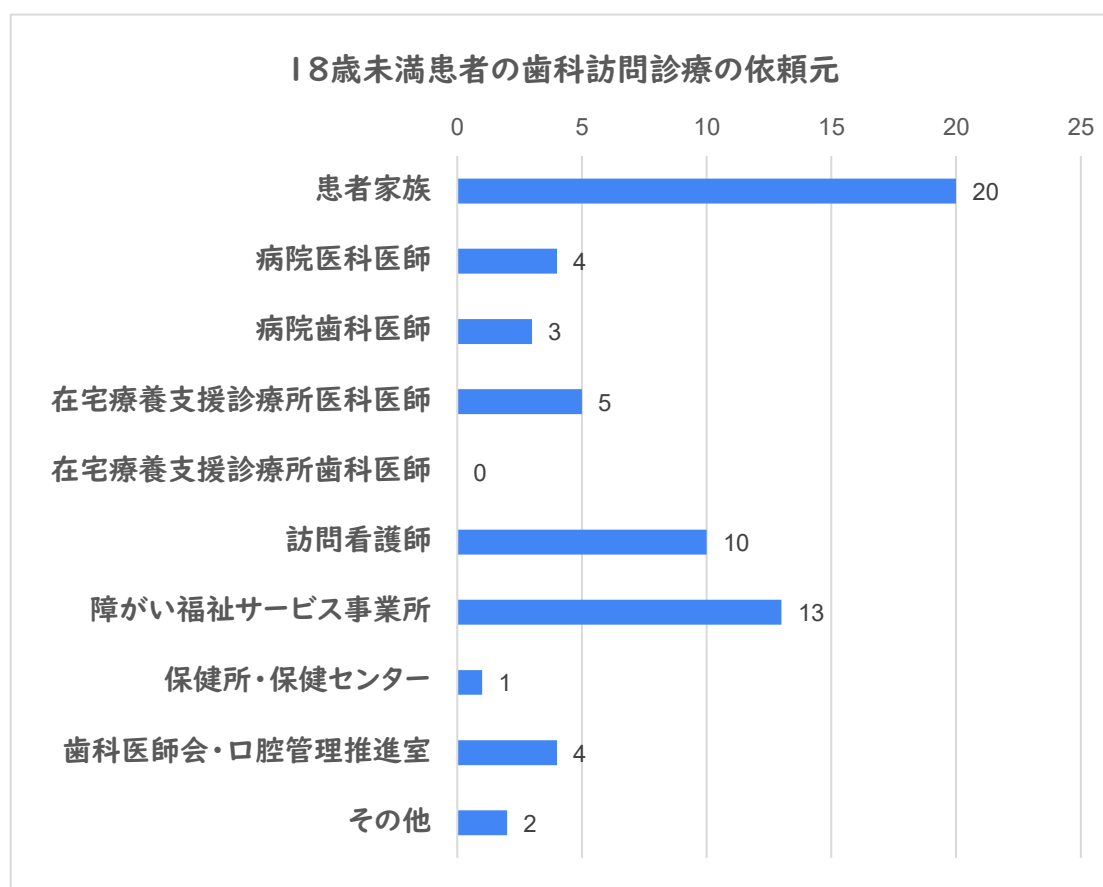
・ ひと月当たりの18歳未満患者の訪問件数

	回答数	割合
0件	3	9%
1件	8	25%
2~5件	16	50%
6~10件	2	6%
10件以上	3	9%
合計	32	100%



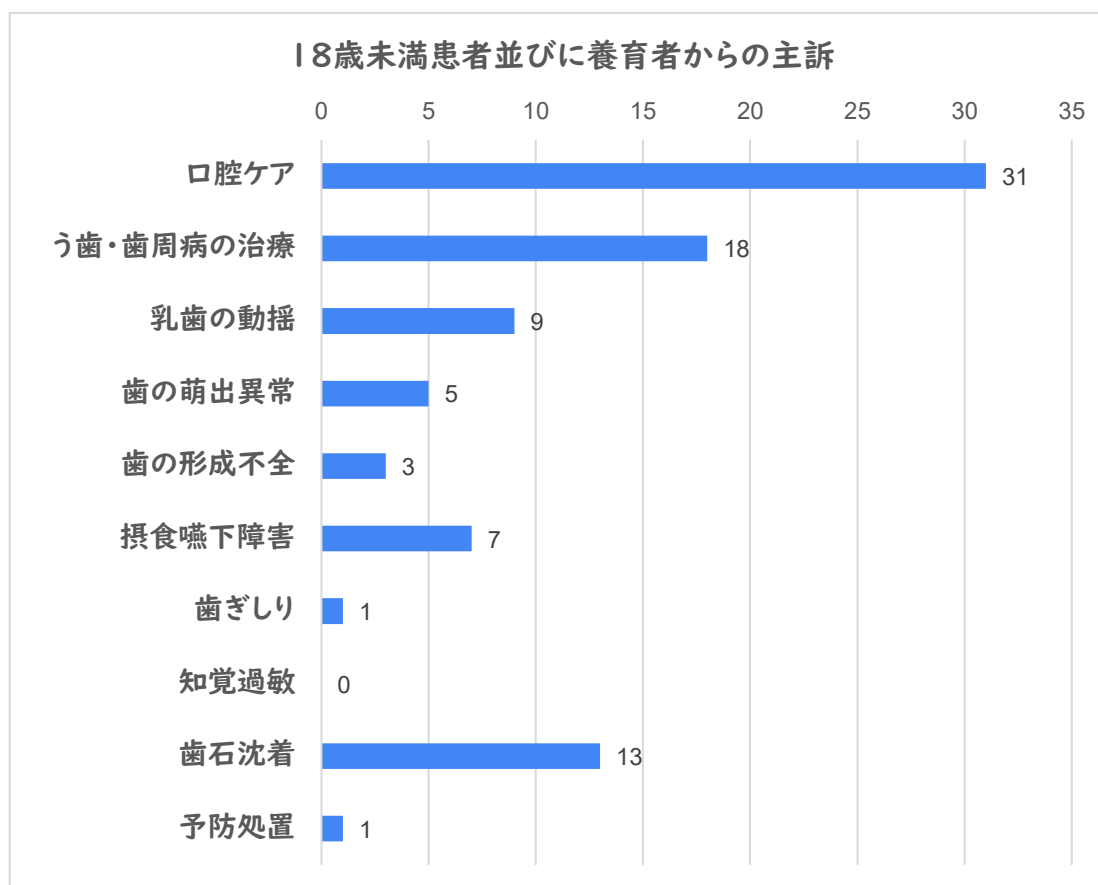
・ 18歳未満患者の歯科訪問診療の依頼元（重複回答）

	回答数	割合
患者家族	20	32%
病院医科医師	4	6%
病院歯科医師	3	5%
在宅療養支援診療所医科医師	5	8%
在宅療養支援診療所歯科医師	0	0%
訪問看護師	10	16%
障がい福祉サービス事業所	13	21%
保健所・保健センター	1	2%
歯科医師会・口腔管理推進室	4	6%
その他	2	3%
合計	62	100%



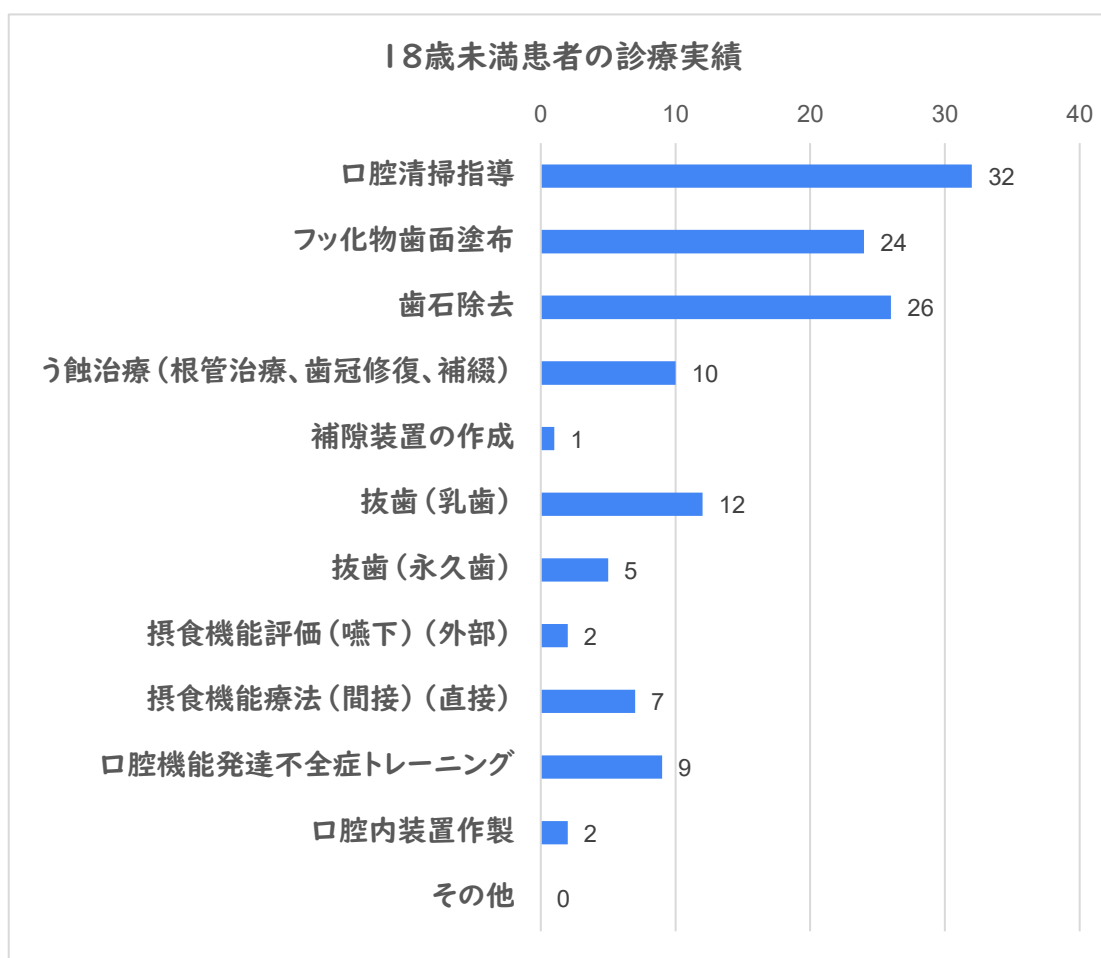
・ 18歳未満患者並びに養育者からの主訴(重複回答)

	回答数	割合
口腔ケア	31	35%
う歯・歯周病の治療	18	20%
乳歯の動揺	9	10%
歯の萌出異常	5	6%
歯の形成不全	3	3%
摂食嚥下障害	7	8%
歯ぎしり	1	1%
知覚過敏	0	0%
歯石沈着	13	15%
予防処置	1	1%
合計	88	100%



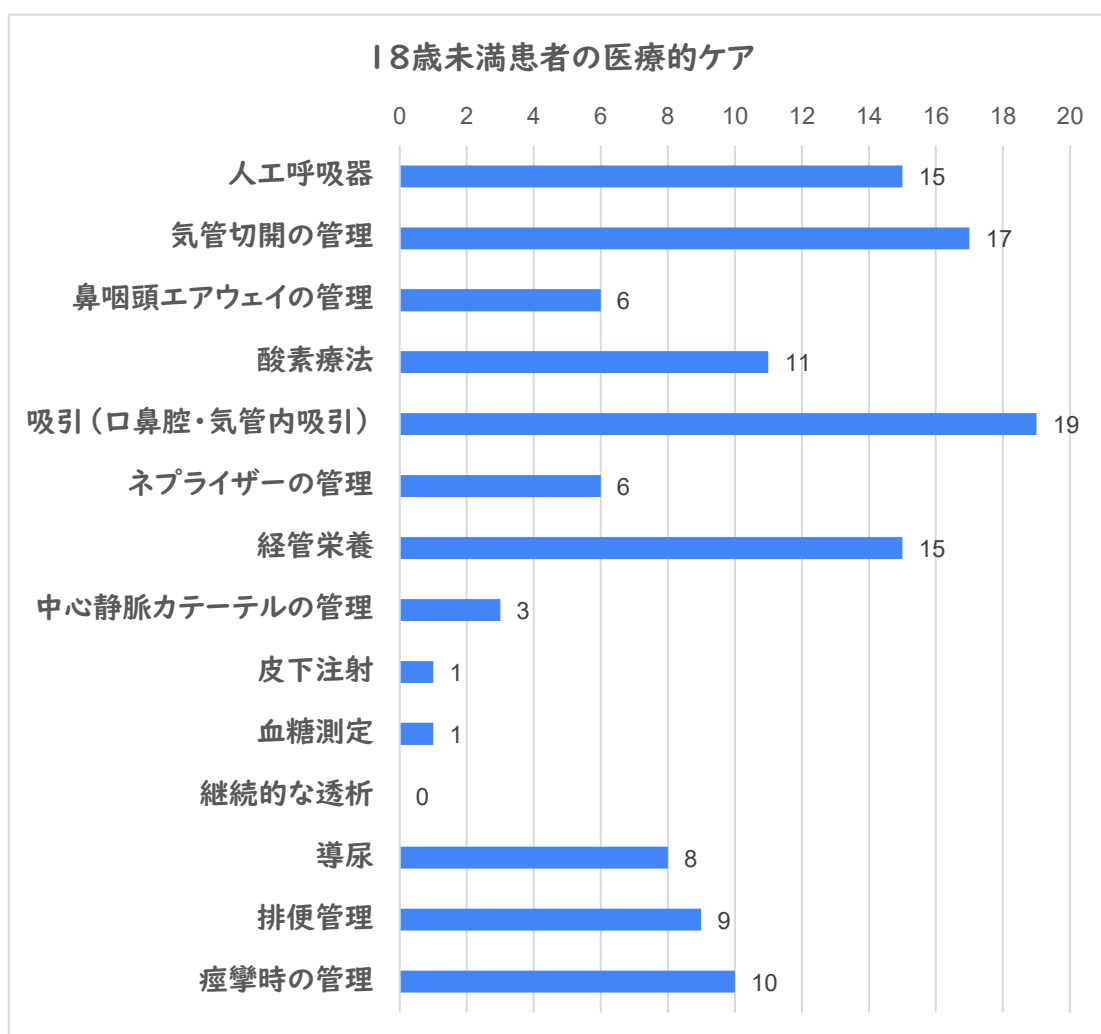
・ 18歳未満患者の診療実績（重複回答）

	回答数	割合
口腔清掃指導	32	25%
フッ化物歯面塗布	24	18%
歯石除去	26	20%
う蝕治療（根管治療、歯冠修復、補綴）	10	8%
補綴装置の作成	1	1%
抜歯（乳歯）	12	9%
抜歯（永久歯）	5	4%
摂食機能評価（嚥下）（外部）	2	2%
摂食機能療法（間接）（直接）	7	5%
口腔機能発達不全症トレーニング	9	7%
口腔内装置作製	2	2%
その他	0	0%
合計	130	100%



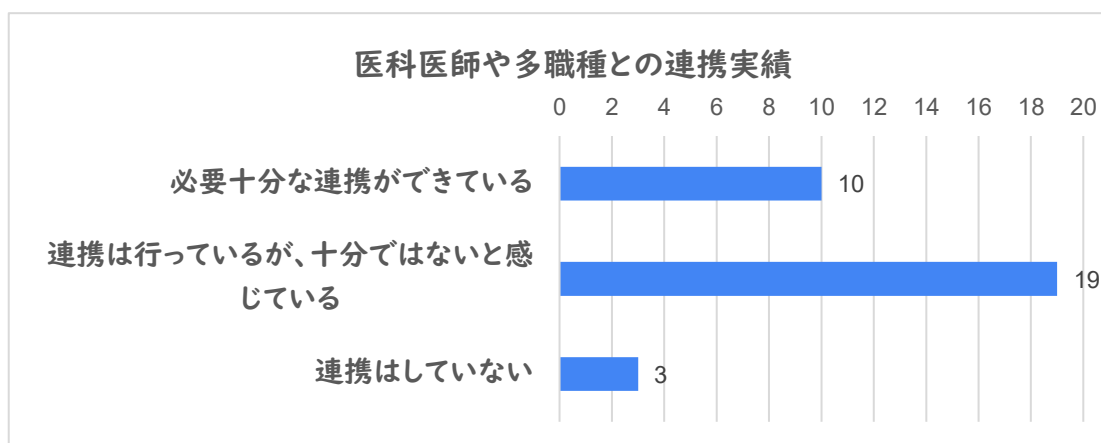
・ 18歳未満患者の医療的ケア(重複回答)

	回答数	割合
人工呼吸器	15	12%
気管切開の管理	17	14%
鼻咽頭エアウェイの管理	6	5%
酸素療法	11	9%
吸引(口鼻腔・気管内吸引)	19	16%
ネプライザーの管理	6	5%
経管栄養	15	12%
中心静脈カテーテルの管理	3	2%
皮下注射	1	1%
血糖測定	1	1%
継続的な透析	0	0%
導尿	8	7%
排便管理	9	7%
痙攣時の管理	10	8%
合計	121	100%



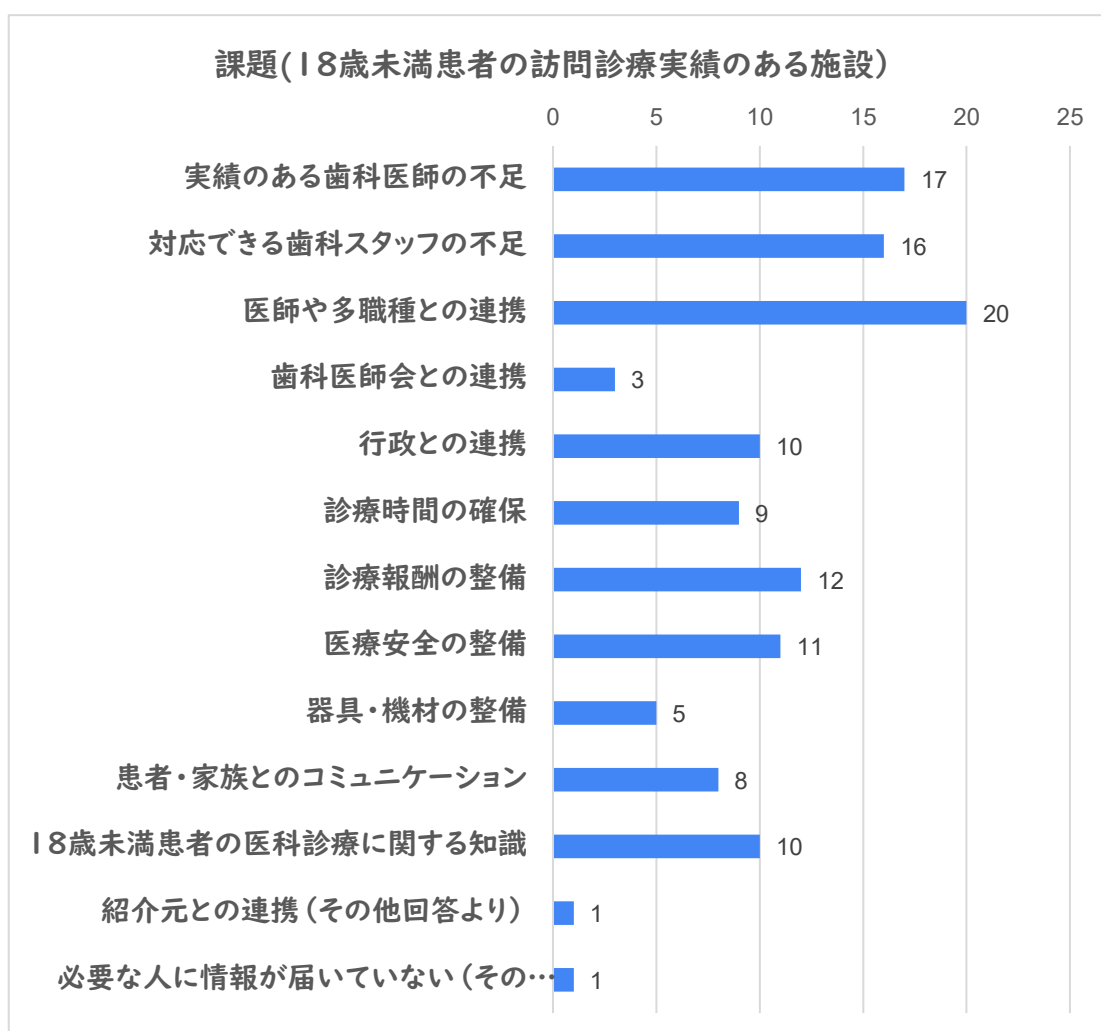
・ 18歳未満患者で医科医師や多職種との連携実績

	回答数	割合
必要十分な連携ができている	10	31%
連携は行っているが、十分ではないと感じている	19	59%
連携はしていない	3	9%
合計	32	100%



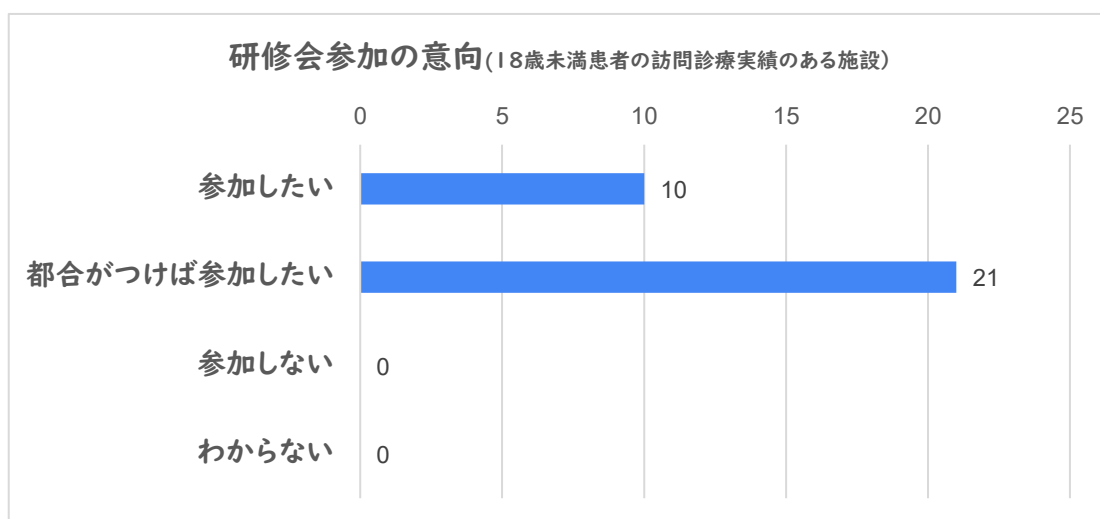
・ 課題(18歳未満患者の訪問実績のある施設) (重複回答)

	回答数	割合
実績のある歯科医師の不足	17	14%
対応できる歯科スタッフの不足	16	13%
医師や多職種との連携	20	16%
歯科医師会との連携	3	2%
行政との連携	10	8%
診療時間の確保	9	7%
診療報酬の整備	12	10%
医療安全の整備	11	9%
器具・機材の整備	5	4%
患者・家族とのコミュニケーション	8	7%
18歳未満患者の医科診療に関する知識	10	8%
紹介元との連携(その他回答より)	1	1%
必要な人に情報が届いていない(その他回答より)	1	1%
合計	123	100%



・ 研修会参加の意向(18歳未満患者の訪問実績のある施設)

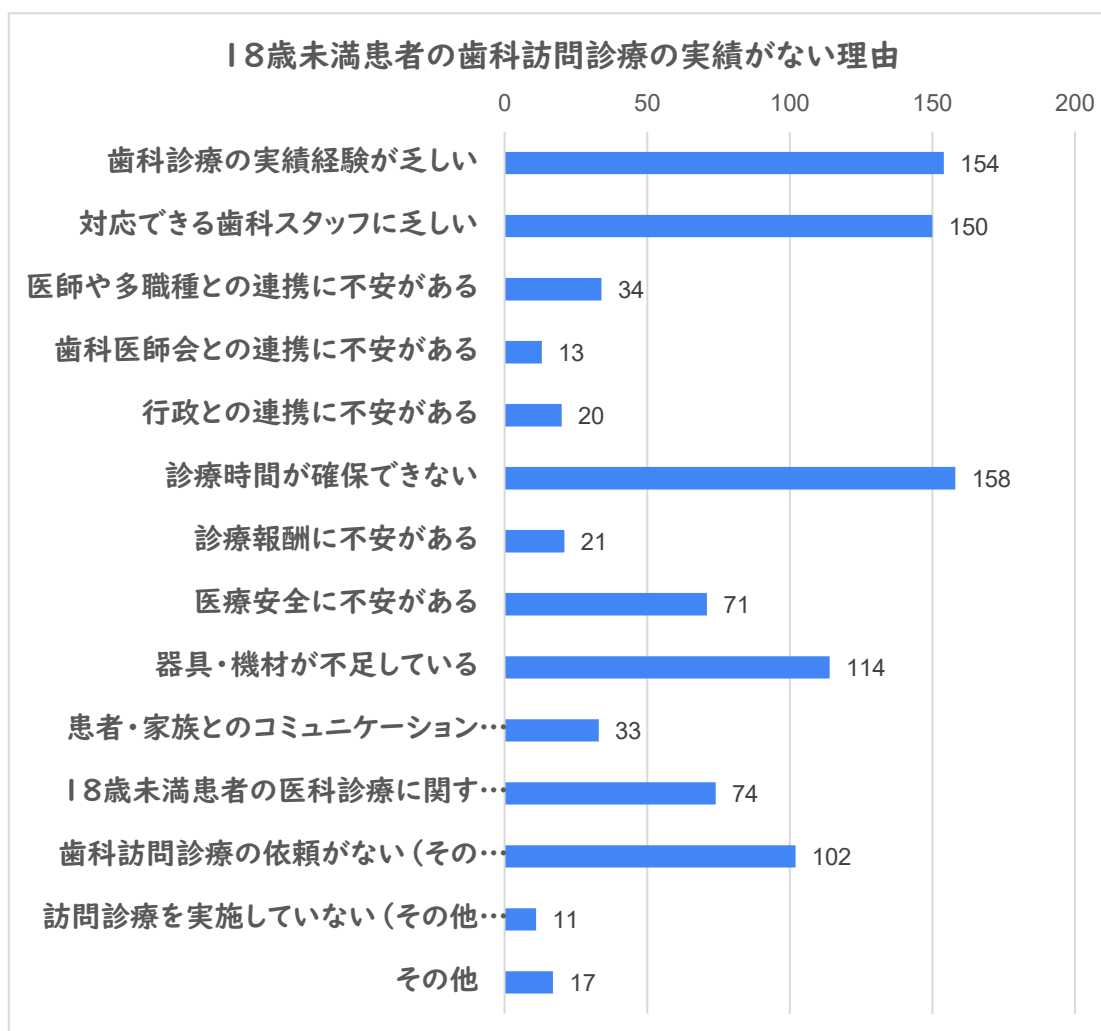
	回答数	割合
参加したい	10	32%
都合がつけば参加したい	21	68%
参加しない	0	0%
わからない	0	0%
合計	31	100%



選択項目 18歳未満患者の歯科訪問診療の実績が「ない」と回答の方(任意)

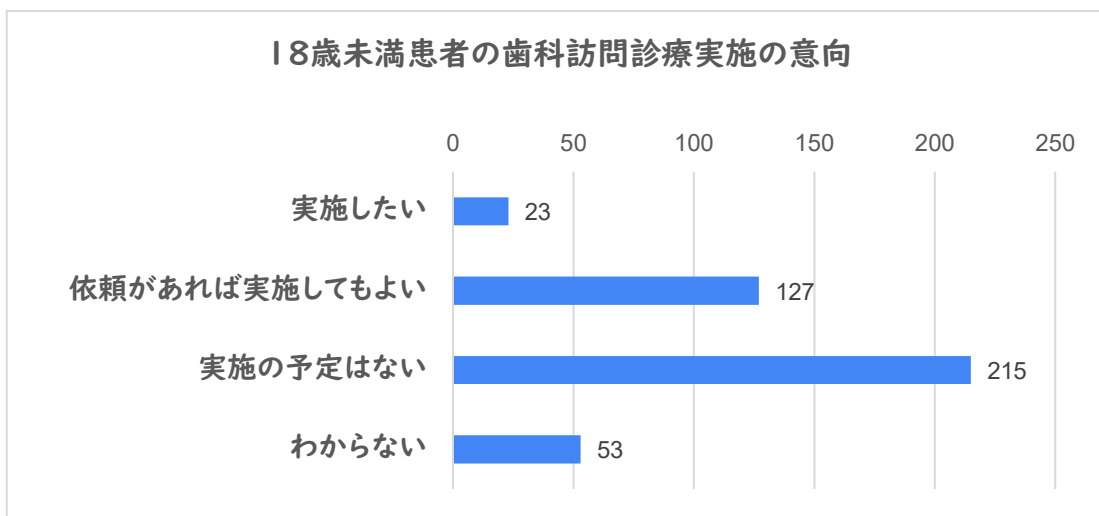
・ 18歳未満患者の歯科訪問診療の実績がない理由(重複回答)

	回答数	割合
歯科診療の実績経験が乏しい	154	16%
対応できる歯科スタッフに乏しい	150	15%
医師や多職種との連携に不安がある	34	3%
歯科医師会との連携に不安がある	13	1%
行政との連携に不安がある	20	2%
診療時間が確保できない	158	16%
診療報酬に不安がある	21	2%
医療安全に不安がある	71	7%
器具・機材が不足している	114	12%
患者・家族とのコミュニケーションに不安がある	33	3%
18歳未満患者の医科診療に関する知識に乏しい	74	8%
歯科訪問診療の依頼がない(その他回答より)	102	10%
訪問診療を実施していない(その他回答より)	11	1%
その他	17	2%
合計	972	100%



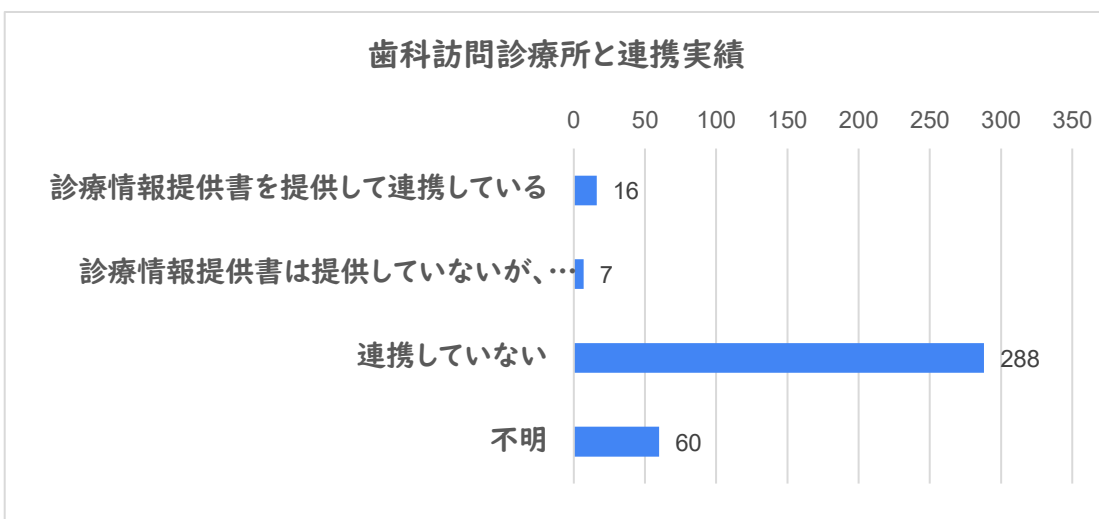
・ 18歳未満患者の歯科訪問診療の実施の意向

	回答数	割合
実施したい	23	6%
依頼があれば実施してもよい	127	30%
実施の予定はない	215	51%
わからない	53	13%
合計	418	100%



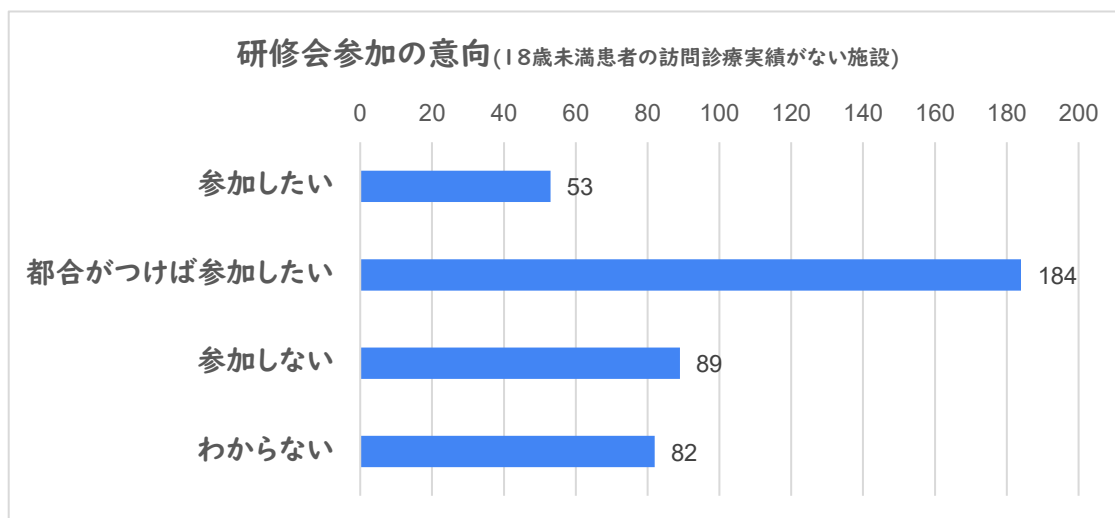
・ 歯科訪問診療所と連携実績

	回答数	割合
診療情報提供書を提供して連携している	16	4%
診療情報提供書は提供していないが、患者・家族の判断で歯科訪問診療を受診している	7	2%
連携していない	288	78%
不明	60	16%
合計	371	100%



・ 研修会参加の意向

	回答数	割合
参加したい	53	13%
都合がつけば参加したい	184	45%
参加しない	89	22%
わからない	82	20%
合計	408	100%



18歳未満患者の歯科訪問診療に関するご意見(合計85件)

(R6年度に)18歳未満患者の歯科訪問診療の実績が「ある」とご回答の方より 7件

(R6年度に)18歳未満患者の歯科訪問診療の実績が「ない」とご回答の方より 78件

※同趣旨のご意見については、内容を整理の上、まとめて記載しています。

(R6年度に)18歳未満患者の歯科訪問診療の実績が「ある」とご回答の方の歯科訪問診療に関するご意見

1 予防歯科の普及啓発、保護者への情報提供の必要性

訪問診療では基本的に予防処置や歯石除去に努めるべきだと思うが、特に施設に入っている方は清掃が疎かになっていることが多く、予防の大切さを知らない人が多い

う蝕になってからの依頼が多いため、出来るだけ早期に介入し、歯科疾患の予防が大切だと思う

ほとんどの場合、初診時に、保護者から子どもの口腔内の様々な事に関する質問が矢継ぎ早にある

これだけ歯に関する情報がある中で、歯科訪問診療を必要としている18歳未満患者に対して情報が届いていない事を痛感する

患儿をもつ親のためのネットワークが必要

2 訪問診療でできる治療範囲の制約

訪問でできることは限られている。多くのケースで歯石除去はリスクを伴うと躊躇してしまう

口腔ケア、口腔管理は可能であるものの、う蝕治療、抜歯等は在宅では厳しいと感じる(患者の拒否や全身疾患の状態より)

訪問診療自体、う蝕治療などが困難であり、スケーリングなどもかなり時間がかかる

医師との連携を図りながら治療を進めているが、全身疾患の影響で治療が遅々として進まず、口腔ケアのみになることがある

3 人材育成の必要性

18歳未満患者の歯科訪問診療を行える歯科医師に帯同して、学習する機会を設ける必要がある

(R6年度に)18歳未満患者の歯科訪問診療の実績が「ない」とご回答の方の歯科訪問診療に関するご意見

1 依頼・ニーズに関する現状

(1)依頼がない・ニーズ不明

そもそも18歳未満の歯科訪問の依頼がない

18歳未満患者の歯科訪問診療のニーズがあることを知らなかった

実際にどのくらいニーズがあるのか知らない

医療ケア児の実態を行政が把握していない

周囲に小児歯科が複数あるので元々小児患者さんが少ない

何を依頼されるのかわかりません。老人対象は経験ありますが

2 対応への不安・課題

(1)知識・経験不足

小児障害者への歯科治療の知識が少なく、不安です

経験がほぼないので、主にどのような症例が多いのか、不安である

どのような状況の方が対象なのか分からない。どんな連携が必要かも知識がないので啓発が重要(

先入観かもしれませんが、全身管理的に一般の訪問診療よりも、かなりリスク的で、治療の難易度も高いように感じています

患者様の要望に対してどこまで答えられるか不安があり、できないでいます

依頼がある場合は携わりたいが、ケア児の病態や関わり方、口腔ケアや治療時に気を付ける事の知識も実績も乏しいため、結局はケア児の治療に慣れた先生にお願いしてしまい、自院の知識も経験も停滞したままになりそうである

依頼も経験もなく、セミナーも参加したことがないため、実態が全くわからず、知識もない状態です

患者の特性や医療安全上での留意点、高齢者の訪問診療との違いについて知りたいです

18歳未満の患者様は診たことがありません。高齢者の訪問との違いは、例えばカリエス処置が多いのではないかと漠然と感じてしまっていますが、実際はどのようなものなのか知っておきたいです

訪問歯科診療所と病院歯科で行っている診療内容にどれくらいの違いがあるのか知りたいです

当院は小児歯科の専門医が在籍しているわけではなく、また成人の訪問診療もほとんど対応できていない状態なので、小児の訪問診療への対応はかなりハードルが高いように感じます

訪問はハードルが高く感じているので、当医院が実施することはないです

訪問診療自体の経験が0なので、お子さんの訪問はさらにハードルが高いです

訪問自体のノウハウがないため、かなりハードルが高いです

経験が無く、協力出来なくてすみません

2 対応への不安・課題

(2) 体制・設備・スタッフの課題

そういった患者の受診が今までないため考えたこともないが、実際にあっても医科的な病気の度合いが深刻であるため個人医院では難しいと思います。障がい者歯科専門医や公的機関でないと採算性という面でも難しいのではと思います
障がいなどの場合、当医院では難しい
必要性は感じるが、当院では対応できない
当院の体力的問題で実施できない
高齢者の訪問診療で手一杯で余裕がありません
カリエス処置などは機械導入もないので難しい
スタッフの経験及び指導が不可欠です。また、訪問診療用の器具・ポータブルのユニット一式が必要となります。医科の訪問診療と比較して歯科の場合非常に危険な診療を厚労省等は要求しているように見受けられます。また、器具等の重量をご存じでしょうか？訪問診療は歯科医院に要求するものではなく、訪問診療の専門医院にお願いするのが適切だと考えます
あくまでも予想ですが、抑制をするスタッフを数人同行させる必要があるのではないかと、不都合さを感じます
小児の患者さんが少なく、往診の希望は受けたことがないです。現実問題として考えたことはなかったですが、希望があっても人手不足の問題などから対応できるかはわかりません
患者家族との連絡、説明さらには、各種書類整備など事務作業が多すぎて、診療時間の確保だけではない問題があるのではないかと思います

(3) 連携・情報共有の課題

医療機関などから訪問依頼がなく、また連携先との関係が構築されていない
障がい児が外来で来院されるが、外来に来られず訪問歯科を希望される患児さんは小児科など専門医からの依頼がないとスタートしない
高齢の要介護者であれば、ケアマネ等からの相談や依頼が有るが、小児に関してはそのようなルートが無いように感じます
医療圏ではなく、診療所がある市に該当する患者がいるのかどうかの情報すらわからない。大人の多職種連携は構築されつつあるが、18歳未満患者の他職種連携はまだ行ったことがない。かかりつけ医がもっと連携する様な旗振りをしなければならぬのではと思う
患者情報が不足している
医療パスの必要性
コロナ前までは歯科訪問を利用していましたが、気づいたら利用しなくなっていた(訪問をしなくなったのか、患者家族が断ったかは不明)疾患や患者家族の状態によっては通院が難しく歯科訪問が必要な児はいるので歯科訪問診療は大切なことと考えます。数年経過し、最近歯科受診を再開したという医療的ケア児を外来で診ており、歯科訪問元から(再開しているようであれば)連絡があってもいいのではないかと、思っています
必須であるが地域の体制を整えるのは困難

(4) その他

68歳の身では、不可能です
患者の状況を診ないと、出来るとは言えません。基本、口腔ケア中心の訪問診療を行なっています
当院の場合、出来れば混合歯列期迄を対象としていただきたい

3 協力意欲・前向きな意見

(1) 依頼があれば小児歯科訪問診療に協力したい

小児の訪問診療を行うための機材、研修など準備は整えているが、実際の患者様からの要望が全くない。要望があればぜひとも行きたいと思っている
現在、18歳未満の方からの訪問診療依頼はなかったのですが、今後依頼があれば協力させていただきます
依頼があれば、いつでも実施します
訪問診療を長期にわたり行っている歯科医院です。残念ながら18歳未満の患者からの依頼を受けたことはありません。依頼があれば訪問診療は可能と思います。宜しくお願いいたします
医療的ケア児の現状を知りたい。高度な事は出来ないが、自分達で出来る事は協力したいと思っています

(2) 研修会等、知識習得の機会に関する要望

依頼があった時の対応には不安がありますので、研修会などあれば、心強いです
依頼があればぜひ行きたいが、小児の疾患に対する対応の知識が乏しいので、何かあった時にどう対応すればいいかなど、不安はあるので、セミナーとかあれば行きたい
高齢者の訪問診療は行っているが、小児に対する訪問診療は今まで依頼がなく行ったことがないので研修会や相談窓口があると助かります
現在18歳未満の訪問患者さんはおられません、患者さん家族からの要請があった時のために知識として準備したいです。
訪問診療自体行っておりませんし、18歳未満の患者も少ないです。これから機会があれば学んでいきたいと思っています
診療内容が想像出来ないの、経験者の話などを聞きたいです
18歳未満の歯科訪問診療の現場を見学する場があれば参加したいです
18歳未満患者の歯科訪問診療が必要となる場合に遭遇したことがなく、歯科的にどれだけのニーズがあるのか不明です。小児歯科訪問診療における注意点などと併せて、周知していただくと幸いです
研修会はオンラインを希望します

4 その他意見

(1) 連携体制に対する提案

全身状態へ慎重な配慮や多職種との連携が深く必要な患者に対しては、かかりつけ歯科が対応するのではなく、障害者歯科学会や老年歯科学会などの専門医へ集約すべきである
同じ地域にはその専門、知識に長けた先生もいらっしゃるの、そちらを受診される方が多いと思われます。また大きな病院との繋がりもあると思いますので当院には今の所要望がありません
成人の訪問診療と同じように、歯科医師会の口腔推進室を利用して3次医療機関と連携とれるようにするとハードルは高くないように思います
県歯が設置している13医療圏にある口腔管理推進室を通して一次歯科医療機関と繋ぐとスムーズに連携できそうです

(2) その他

18歳未満患者の歯科訪問診療は、必要なことだと思います
様々な状況で外来に通えない方のために必要な医療形態だと思う
前にベッドに乗って来院された方がいましたが訪問診療があれば親達はありがたいと思います
大手の歯科医療法人の勤務時には、18歳未満の患者さんを診療する機会は、しばしばあったのですが、多くの歯科医師会会員が18歳未満の患者さんに訪問診療ができるような仕組みができることを期待しています
娘が小児の訪問看護をしています。なかなか見てもらえる先生が少なくこまっているようです。県歯会と連携して、この分野の充実に期待いたします
18歳未満患者に関わらず全世代における歯科訪問診療が求められていると思います。往診に特化した歯科医院のみが訪問診療を行うのではなく、多くの歯科医院が歯科往診を実施できる環境整備および抜本的な診療報酬の改善、歯科医院に対する早急な財政支援が求められています

令和7年度福岡県小児等在宅医療推進事業 ＜小児歯科訪問診療アンケートフォーム＞

R7年度 小児歯科訪問診療アンケート

調査目的：小児歯科訪問診療の実態調査

調査主体：九州大学病院 小児等在宅医療推進事業事務局

調査対象：歯科診療所（小児、在宅、障がい者(児)）、病院歯科

回答締切：令和7年10月1日

お問合先：九州大学病院小児等在宅医療推進事業事務局

TEL：092-642-5982 E-mail：shonizaitaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

* 必須の質問です



本調査にご協力をいただくにあたり、同意をいただいております。*

*ご提供いただく情報の集計結果は福岡県のホームページ及び九州大学病院の小児等在宅医療推進事業ホームページで公表いたします。医療機関名称につきましてはアンケート回収の確認以外には一切使用いたしません。データの集計において医療機関を特定することはございません。

情報提供に同意する

貴医療機関の施設名称（任意）

回答を入力

貴医療機関の二次保健医療圏を1つ選択してください*

- 福岡・糸島
- 粕屋
- 宗像
- 筑紫
- 朝倉
- 久留米
- 八女・筑後
- 有明
- 飯塚
- 直方・鞍手
- 田川
- 北九州
- 京築

貴医療機関の施設区分をいずれか選択してください*

- 診療所歯科
- 病院歯科

令和6年度の全診療(年齢は問わない)のうち、歯科訪問診療の実施についていずれか選択してください*

- ある
- ない

令和6年度の全診療(外来・訪問いずれも含む)のうち、18歳未満患者の実績に *
ついていずれか選択してください

ある

ない

令和6年度の18歳未満患者の歯科訪問診療の実績についていずれか選択してく
ださい

ある

ない

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - [利用規約](#) - [プライバシー ポリシー](#)

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム

R7年度 小児歯科訪問診療アンケート

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

令和6年度の18歳未満患者の歯科訪問診療の実績が「ある」とご回答の方へ

以下の設問はすべて、令和6年度の実績でご回答ください

歯科訪問診療に占める18歳未満患者のおおよその割合を1つ選択してください
(任意)

- 0%
- 1～19%
- 20～39%
- 40～59%
- 60～79%
- 80～100%

ひと月当たりの18歳未満患者の訪問件数（おおよその延べ人数で可）を1つ選択してください（任意）

- 0件
- 1件
- 2～5件
- 6～10件
- 10件以上

18歳未満患者の歯科訪問診療の依頼元を選択してください（複数回答可）（任意）

- 患者家族
- 病院医科医師
- 病院歯科医師
- 在宅療養支援診療所医科医師
- 在宅療養支援診療所歯科医師
- 訪問看護師
- 障がい福祉サービス事業所
- 保健所・保健センター
- 歯科医師会・口腔管理推進室
- その他: _____

18歳未満患者並びに養育者からの主訴を選択してください（複数回答可）（任意）

- 口腔ケア
- う歯・歯周病の治療
- 乳歯の動揺
- 歯の萌出異常
- 歯の形成不全
- 摂食嚥下障害
- 歯ざしり
- 知覚過敏
- 歯石沈着
- その他: _____

18歳未満患者の診療実績を選択してください（複数回答可）（任意）

- 口腔清掃指導
- フッ化物歯面塗布
- 歯石除去
- う蝕治療（根管治療、歯冠修復、補綴など）
- 補綴装置の作成
- 抜歯（乳歯）
- 抜歯（永久歯）
- 摂食機能評価（嚥下）（外部）
- 摂食機能療法（間接）（直接）
- 口腔機能発達不全症トレーニング
- 口腔内装置作製
- その他: _____

18歳未満患者が受けていた医療的ケアを選択してください（複数回答可）（任意）

*複数名の診療実績がありましたら該当患者全体でご回答ください

- 人工呼吸器
- 気管切開の管理
- 鼻咽喉エアウェイの管理
- 酸素療法
- 吸引（口鼻腔・気管内吸引）
- ネブライザーの管理
- 経管栄養
- 中心静脈カテーテルの管理
- 皮下注射
- 血糖測定
- 継続的な透析
- 導尿
- 排便管理
- 痙攣時の管理

18歳未満患者で医科医師や多職種との連携実績について選択してください（任意）

- 必要十分な連携ができている
- 連携は行っているが、十分ではないと感じている
- 連携はしていない

18歳未満患者の歯科訪問診療における課題を選択してください（複数回答可）（任意）

- 歯科訪問診療、あるいは18歳未満患者の歯科診療の実績のある歯科医師の不足
- 歯科訪問診療、あるいは18歳未満患者の歯科診療に対応できる歯科スタッフ（歯科医師を除く）の不足
- 医師や多職種との連携
- 歯科医師会との連携
- 行政との連携
- 診療時間の確保
- 診療報酬の整備
- 医療安全の整備
- 器具・機材の整備
- 患者・家族とのコミュニケーション
- 18歳未満患者の医科診療に関する知識
- その他: _____

18歳未満患者の歯科訪問診療に関する研修会が開催された場合、参加の意向について1つ選択してください（任意）

- 参加したい
- 都合がつけば参加したい
- 参加しない
- わからない

18歳未満患者の歯科訪問診療に関するご意見をお聞かせください（任意）

回答を入力

アンケートは以上です
ご協力いただき、ありがとうございました。

- 回答の送信に対する自動返信（メールの収集）機能はありません。
- 回答の控えが必要な方は各自スクリーンショット等でお控えください。

戻る

送信

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - [利用規約](#) - [プライバシー ポリシー](#)

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム

R7年度 小児歯科訪問診療アンケート

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

令和6年度の18歳未満患者の歯科訪問診療の実績が「ない」とご回答の方へ

以下の設問はすべて、令和6年度の実績でご回答ください

18歳未満患者の歯科訪問診療の実績がない理由を選択してください（複数回答可）（任意）

- 歯科訪問診療、あるいは18歳未満患者の歯科診療の経験が乏しい
- 歯科訪問診療、あるいは18歳未満患者の歯科診療に対応できる歯科スタッフ（歯科医師を除く）に乏しい
- 医師や多職種との連携に不安がある
- 歯科医師会との連携に不安がある
- 行政との連携に不安がある
- 診療時間が確保できない
- 診療報酬に不安がある
- 医療安全に不安がある
- 器具・機材が不足している
- 患者・家族とのコミュニケーションに不安がある
- 18歳未満患者の医科診療に関する知識に乏しい
- その他: _____

18歳未満患者の歯科訪問診療の実施の意向について1つ選択してください（任意）

- 実施したい
- 依頼があれば実施してもよい
- 実施の予定はない
- わからない

18歳未満患者に対して、歯科訪問診療所と連携実績を1つ選択してください（任意）

- 診療情報提供書を提供して連携している
- 診療情報提供書は提供していないが、患者・家族の判断で歯科訪問診療を受診している
- 連携していない
- 不明

18歳未満患者の歯科訪問診療に関する研修会が開催された場合、参加の意向について1つ選択してください（任意）

- 参加したい
- 都合がつけば参加したい
- 参加しない
- わからない

18歳未満患者の歯科訪問診療に関するご意見をお聞かせください（任意）

回答を入力

アンケートは以上です
ご協力いただき、ありがとうございました。

- 回答の送信に対する自動返信（メールの収集）機能はありません。
- 回答の控えが必要な方は各自スクリーンショット等でお控えください。

戻る

送信

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - [利用規約](#) - [プライバシー ポリシー](#)

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム